令和８年度　事務事業評価（議会）
（令和７年度決算）

分科会評価結果

分科会名	厚生分科会						整理番号	厚生－３		
事務事業名	手術支援ロボット導入・普及支援事業									
評価区分 （事務事業の方向性）	１	拡　充	②	継　続	３	改善の上で継続	４	終期設定し終了	５	休止・廃止

〈上記評価区分とした理由、改善内容、提案事項等〉

本事業は、市内医療機関の手術支援ロボットの人材育成に係る研修費用等を補助することで、患者の身体への負担が少なく、精度の高いロボット支援手術を行うための技術を有する人材を育成し、医師・患者双方の負担軽減につながる手術支援ロボットの導入・普及に寄与することを目的としている。

高齢化の進展に伴い、合併症リスクの高い患者が増加する中、微細で安定した操作により、術後の早期回復などの患者の負担軽減に寄与するロボット支援手術は、今後ますます需要の増加が見込まれるため、本事業の必要性は高いと認められる。

今後は、医師や医療スタッフの育成を進めるとともに、事業効果を高めるために、引き続き必要な補助を行い、国や県への財政負担に対する働きかけを検討することを求め、継続とした。